

北杜市 次世代育成支援行動計画 前期行動計画総括表

基本方針	事業数	A 目標達成	B ほぼ目標達成	C 目標は未達成 であるが着実な 推進	D 目標未達成で 推進されていな い(未実施も含 む)	ま と め
基本方針1 元気な声が響くまち 安心して、妊娠、出産ができ、母子ともに健康で過ごせるよう、病気や怪我の対応にも心配のないまちを目指します	34	31	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ●母子の健康の確保、相談体制の充実のため、こんにちは赤ちゃん事業などを実施し子育てに関する情報提供や相談体制の充実を推進してきた。目標達成できた。 ●乳幼児の健康管理と育児情報の提供で、「乳児相談」については、新生児と4ヶ月児訪問を充実させたため、平成19年度から実施していないがその他は目標達成できた。 ●小児医療体制の充実のため「子ども医療費の助成」の対象を小学3年生まで引き上げ更に充実できた。 ●地域ネットワークの整備のうち「育児ストレスの軽減と母親の孤立化防止」で児童家庭相談室が関係機関と連携し対応しほぼ目標達成できた。
基本方針2 明るい声が響くまち 子どもたちが、将来に夢と希望を持って、日々健やかに健全に成長するまちを目指します	18	11	6	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ●生きる力を育む学校教育(原っぱ教育)は、目標達成できた。 ●思春期の健康教育の充実について「親や子どもへのピアカウンセリングの実施」は、山梨県のスクールカウンセラー活用事業と連携を図る中で、市青少年カウンセラーも活用し成果を上げ、「教育相談窓口や支援ネットワークの整備」は、庁内の関係部局との連携が有効に機能するなど、ほぼ目標を達成した。「人権に対する啓蒙活動」は、実施していないためD評価。後期計画では、「男女共同参画意識の醸成」「人権意識の啓発」と類似するため項目を統合し事業を推進。 ●食育の推進は、積極的な啓発活動を実施し、協議会で
基本方針3 親子で声が響くまち 子育て家庭を支援し、仕事と子育てが両立しやすい、親子で楽しい毎日が過ごせるまちを目指します	21	14	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの体力づくり・スポーツの推進と環境整備は、目標を達成している ●多様な保育ニーズに対応するため、保育サービスの充実を推進し、目標達成できた。 ●保育施設の整備、運営の充実は、ほぼ目標を達成したが、「保育に関わる人材確保、充実」が課題である。後期計画でも取組を継続し「多様なニーズに対応できるよう、人材確保と研修体制の充実」に努めることとしている。 ●仕事と子育ての両立支援は、「男女共同参画意識の醸成」はほぼ目標達成できたが、人権意識の啓発がC評価。後期計画では、毎年フォーラムの開催と機関誌の発行を目標としている。「職場と家庭を両立できる環境整備」は概ね目標達成しているが、「企業の労働改善に係る相談事業」はC評価。そのため後期計画では、企業訪問などを通じて啓発に努めていくとしている。

基本方針	事業数	A 目標達成	B ほぼ目標達成	C 目標は未達成であるが着実な推進	D 目標未達成で推進されていない(未実施も含む)	ま と め
基本方針4 近隣で声が響くまち 近隣で一体となり子どもの成長を見守る、地域一体での子育て意識を持ったまちを目指します	33	15	13	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援の充実「病後児保育の検討」は設置予定のファミリー・サポート・センターで軽度の病気の子どもについては預かる方向で検討中のためC評価。後期計画では本格的に実施するため重点プロジェクトに盛り込んだ。放課後児童クラブ、児童館運営はほぼ目標達成できた。 ●「各種手当等による経済的支援は」目標達成できた。 ●交流機会の確保は、ほぼ目標達成した。「ことぶきマスター制度の活用」事業は終了している。 ●支援施設、相談窓口の整備充実は、ほぼ目標を達成できた。「情報提供体制の充実」では、子育てガイドブックの作成や子育て情報サイトやまネットを作成し情報提供体制を充実させた。 ●家庭、地域の養育機能の向上は、ほぼ目標を達成している。「家庭教育推進会議の設置」と「地域子育て支援推進強化事業」は県の事業が終了したこと等に伴い終了。「ファミリー・サポート・センター」は設置に向けた体制づくりを行った。
基本方針5 地域に声が響くまち 子どもにとって過ごしやすく、子どもが安全に暮らせる、子どもの視点に立った環境整備・基盤整備を進めるまちを目指します	34	25	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ●ひとり親家庭への支援は、窓口相談や訪問活動により相談しやすい環境を整備するなど、目標を達成できた。 ●障害児支援の充実は、ほぼ目標達成できた。「相談支援事業」はC評価であるが、保健師等の相談や、ダウン症の親の集いの開催により相談支援や不安の解消を図った。後期計画においても相談支援事業を継続推進していき「保護者の相談体制の充実を図る」としている。「障害児保育環境改善事業」は、未実施でD評価であるが、先般策定した保育園充実プランに基づき保育環境の改善、充実を図る中で対応していく。 ●「妊婦や子ども連れにやさしいまちづくり」は、駅前や周辺道路のバリアフリー化をし、市内施設のベビーコーナーの整備をするなど目標を達成できた。 ●「防犯対策の強化」は、防犯教室の実施により児童生徒の意識が向上するなど、ほぼ目標を達成できた。 ●「交通安全教育の推進」は、交通安全教室の実施や啓発活動を行い、ほぼ目標を達成できた。
合計	140	96	32	7	5	